

第3回川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会 議事要旨

■日時：平成26年8月26日 15時～17時

■場所：川口市役所

(概要)

(市民アンケート結果(速報版)について)

- 次回審議会ではクロス集計により詳しく分析結果を整理する。
- 市民ホールの要求度が上位3番目である一方、建設費や管理費が過大にならないことに対する要求度も高いため、取り扱いについて慎重に検討する。

(基本構想(素案)前半部分について)

- 議員定数や将来人口などの与条件の取り扱いについて表現を工夫する。

(庁内検討部会の検討状況について)

- 基本構想の段階では明示的に書くのではなく、与条件を示す程度として、設計計画を拘束しないように工夫する。
- 町田市庁舎を視察した感想について各委員からご意見を頂いた。

(その他)

- 第4回審議会は10月6日(月)15:30から開催することとなった。

1. 開会

【事務局】委員変更があったのでお知らせする。8月1日付で仁平委員に変更となった。

【委員】社団法人川口青年会議所の理事長を仰せつかっている仁平です。よろしくお願ひします。

【会長】全員出席ということでありがとうございます。5,000人の市民アンケート結果の速報版について公開されるので期待している。町田市庁舎の視察も行ったのでそれについてもご意見頂きたい。

2. 議事

(1) 市民アンケート結果(速報版)について

【事務局】

(資料説明)

【会長】速報ではあるがだいたい傾向は見えたとする。何か質問や不明点があれば如何か。今のうちに何かおかしい点があればご指摘頂きたい。交通手段は車がやはり多く、午前中に来庁される方が多い。駐車台数はもう少し多い方が良くということだと思すが、これらは設計の与条件になってくる。高コストにしたくないということもあるし、手続きや相談・待ち合わせスペースが狭いとか、分かり易さについても大切だと思する。相談スペースはプライバシーの問題も加わる。これらのことを設計に反映させたいという要求だと思する。極力不便がないように支所機能でまかなえるようにとか、バリアフリーの問題もある。新庁舎に入れ込むべき項目として銀行やコンビニもあるが、本当に必要なのか後からまた議論すべきと考えている。次回はすべきことを問題提起して頂ければと思する。

【委員】まだ解析できていないが、狭隘であるとか、プライバシーが守られていないという結果が出ているが、14ページでは駅前行政センターに来ている割合が多い。駅前や支所は狭隘であるということはないと思する。本庁舎に来ている割合が低いので、狭隘という評価がどの施設を指しているのかについてよく分析しないと、ミスリードしてしまう可能性がある。

【会長】本庁舎と駅前行政センターについて職員からどのような問題が出ているのか。

【事務局】問6は本庁舎を対象とした設問である。支所や駅前行政センターはそれほど狭隘では無く、本庁舎とは異なっていると感じている。問10について、支所と行政センターが多いが、問1では本庁舎に来た割合が62%くらいある。問6では、最もよく利用する施設を問う設問のため、本庁舎を選択した方が少なくなっているが、クロス集計などを行い分析したいと考えている。

【会長】次の解析でぜひコメントをお願いしたい。

【委員】問1と問10の整合性を見ていく必要がある。

【事務局】クロス集計により詳しく解析したい。

【会長】問8の盛り込むべき施設も重要な項目でありご意見を頂きたい。また、次回は回答数の高い順番に並べるなど見せ方を検討してほしい。年齢別にみると高齢者ほど回答率が高いが、かなり平均的に集まっている。高齢者ほど庁舎を利用する方が多いような気も

する。居住地もかなり分散している。居住歴は長い方が多い。このような結果が出ているが、確認したいということがあればお願いしたい。

【委員】問1に支所は入っているのか。

【事務局】「これらに含まれないその他の庁舎」に含まれている。

【委員】「建設費が過大にならないこと」の回答が多いが、何十年経ってもびくともしない立派なものを建設するのは良いことと思う。これからの世代に何十年か経た時に褒めて頂けるような立派な新庁舎を建てて頂きたい。

【会長】昨日、次世代公共建築研究会で「次世代公共建築の新たなキーワードを探る」と題したパネルディスカッションで議論した際に、安全安心だけでは無く、市民として誇れる庁舎を、という意見もあった。

【副会長】今の時代、建設費が過大にならないよう心がける必要がある。大切なのは、市民の皆さんが納得して頂ける施設と建設費にすることである。

【委員】アンケート結果では「市のシンボル」というのが2.9%というのはさみしい思いである。市民が誇れるようなシンボル性のある建物にして頂きたい。

【会長】アンケート結果や統計では出てこないが、シンボル性をどのように考えていくのか審議会でも重要な課題である。

【委員】市民ホールの併設が21.2%となっている。現在の市民会館は2,000席程度である。市民ホールの取り扱いが難しい課題になってくる。市民ホールを取り込むのかどうか、どこかで決めていく必要がある。

【会長】2,000席の規模だと市庁舎とは別枠で考える必要がある。

【事務局】今の市民会館の規模は1,300席であり、リアホールが2,000席である。問7では建設費や管理費が過大にならないこととある。市民ホールを整備することはこの回答と矛盾する結果となる。近年の類似事例を紹介すると、茅野市のホールは800席で、建設費が約47億円かかっている。ホールを整備すればその分の維持管理費も見込む必要がある。どのように取り扱うのかは重要な課題であり、慎重に検討していきたいと考えている。

【会長】規模と費用について具体的なイメージが無いと、市民は判断が付かないだろう。別個に取り上げて検討した方が良いかもしれない。基本構想・基本計画には、どのように盛り込んでいく予定なのか。

【事務局】アンケート回答者の市民ホールのイメージも幅広いと思われる。上位にあったからすぐに整備するという訳にはいかない。新庁舎との関係をどうするのかについては基本構想の中で整理が必要と考えている。また、整備するとした場合、基本計画の中では一歩踏み込んで結論付けていく必要があると考えている。

【会長】市民ホールの要求度の序列からすると上位3番目であり、安易に落とす訳にはいかないで、そのように位置づけていくということによろしいか。

【会長】速報についてはこれでよろしいか。
(異議なしの声)

(2) 基本構想(素案)前半部分について

【事務局】

(資料説明)

【会長】議題2についてご意見ご質問はあるか。特に第3章まではだいたい確認してきたことである。第4章以降は、庁舎の機能や窓口の考え方などは、アンケートの最終結果などにより項目も変わってくると思う。

【会長】何かあればまた事務局に検討するように連絡頂ければと思う。特に機能面について盛り込めるものがあれば盛り込んで頂きたい。第4章以降はこれから文章化してそこで議論するということであろう。

【委員】11頁に職員数の推移が掲載されている。今後の職員数を見込んで新しい庁舎に執務スペースの面積を算定していくと思うが、今後、中核市を目指すという方向性を現時点で持っているなか、将来の職員数をどのように考えているのか。文章では、現状の職員数を前提として検討を進め、柔軟に見直しを図るということが書かれているが、何をどう見直していくのか。もう少し表現を工夫した方がよいと思う。

また、12頁について、議員定数45名ということであるが、次期は42名にすることが決定されている。これについては、どう取り扱のか。

さらに、8頁に庁舎の基本的な目指すべき方向性が記載されているが、ここに、どこまで具体的なことを記述していくのか、位置づけがよくわからない。

【事務局】中核市の関係では、平成30年4月を目途として検討している。おそらく保健所として60人から70人が増員されるが、それを本庁舎に盛り込む予定は、現状では無い。議員定数は、議席をいくつ設けるのかが問題である。現在は46席あるが今後細かく詰めていく必要がある。今後の議員定数の設定もあるので今後さらに検討したい。

【事務局】第4次川口市総合計画において、市の目指すべき姿として6点あげられており、これを記載したものが8頁である。また、この6つの目指すべき姿を新庁舎として受ける形で書いたのが9頁である。これに対して、不足や違和感など、ご意見頂ければと思う。

【会長】昨日開催した次世代公共建築研究会ではこのあたりが議論になった。建築はある程度、スペースに余裕があった方が良い。誇りや威厳も欲しい。職員数などの数字を厳密に決めて、ガチガチにつくるのは如何なものか。数字としてはきちんとあげておきながら、与条件としての取扱いがうまく表現して頂きたい。

【副会長】10頁の図を見ると川口市の人口は、大きく減っていくように見えるが、実際の変化は、今後30年間で3万人減るだけである。今の図だと、かなり下がるというマイナスの印象を与える。図の見せ方を工夫した方が良い。

【会長】これからは、昼間人口も重要な指標になってくるので、夜間人口だけではなく昼間人口も踏まえるとよい。

【委員】2頁の各庁舎の職員数について、分庁舎等計の数字が間違っている。訂正頂きたい。

【事務局】修正させて頂く。

【委員】10頁の将来人口について、川口市は外国人人口が多い。外国人はこの数字に入っているのか、外国人は今後増加するのか否か。どのように捉えていくのか。

【事務局】外国人もこの図に含まれている。今後については予測できないが、資料3の8頁に外国人居住者数の推移を掲載している。現在24,115人ということで徐々に増加している。また、昼夜間人口比率は16頁にあり、昼夜間人口比率は83.7%となっている。

【会長】昼間人口や夜間人口は増え続けているのか。またそのような傾向も織り込んで頂

きたい。

【委員】9頁の基本方針の一つに「(3)すべての人に優しい庁舎(ユニバーサルデザイン)」とある。アンケート調査ではプライバシーや待合スペース、通路や階段含めてゆとりあるスペースの確保が求められている。「ゆとり」の視点を、この項目に盛り込んで欲しい。

(3) 庁内検討部会の検討状況について

【事務局】

(資料説明)

【会長】すぐに判断するのは難しいと思うが、気づいたところについてご意見を頂きたい。

【委員】4頁の防災対策において「地下階は原則として設置しない」とあるが、敷地も大きくないので、できるだけ地下を活用するという考えは無いのか。

【事務局】水害の関係もあり設置しない方向とは考えているが、決定している訳では無い。地下階を設置することで費用や工期もかかる一方で、駐車場が不足している課題もある。これらを総合的に判断していきたい。

【委員】6頁に「免震構造の採用を検討」となっており、4頁でも、「免震構造の採用を前提で検討」とあるが、どのような経緯でそのようになったのか説明頂きたい。また、6頁には雨水貯留施設の検討とある。現庁舎は雨水が溜りやすい地域にあるが、それに対応できる程度の施設を検討されているのか。さらに、7頁には「市民ホールが必要か否かの検討」とあるが、必要性の検討については具体的にどのように進めていくのか。

【事務局】免震構造については、検討部会の中でこのような意見が出てきたということで、まだ、検討中である。
雨水貯留施設の設置については、部会の中でも庁舎は率先してやって欲しいという意見もあり、周辺も引き込むようにということで下水道部から要望を受けている。
市民ホールの検討については、部会で議論し案を取りまとめた上で、審議会で審議頂くという手順を考えている。
なお、全体的に基本構想では理念を示すものと考えており、具体的な項目は基本計画で記載していくことになると考えている。

【会長】基本構想の段階では明示的に書くというよりは、与条件を示していく程度にして、設計計画を拘束することは止めた方が良い。免震構造が本当に良いのかという問題もある。

免震構造ありきとならないよう注意いただきたい。

【委員】了解した。検討状況について都度教えて頂きたい。建設計画の中で、面積を出していくことになると思うが、これまでの資料では、新庁舎は4万㎡必要といわれてきた。しかし、この面積にこだわる必要はないと個人的には考えている。分散している庁舎をどのように集約するかによって必要面積は異なる。面積が増えれば建設費も増加する。できるだけ将来に負担を廻さないようにする必要がある。建物が立派でも市民生活が大変だと仕方が無い。集約化は、どのように考えているのか。

【事務局】資料4の2頁に市庁舎等の概要があるが、これを集約したいと想定したものである。この中でどこを集約から外すのかということも詰めていきたい。現時点では、水道庁舎の下水道部や朝日環境センター内の環境部については、現状で良いのではと考えているが、議論したうえで基本構想の中で示していきたい。

【委員】市民会館の隣の賃貸住宅と駐車場の敷地があるが、この土地を購入することはできないか。敷地が狭いというが、これを利用できれば、駐車場スペースも十分に確保できるのではないか。地下の利用について、リリアには地下に駐車スペースを有している。市役所の地域と洪水災害の危険度は変わらないはず。物損で済むようなものであれば地下利用も検討すべき。この地域は大型の避難施設が少ない場所であり、避難場所まで行くために時間がかかる。市役所2階部分を一次避難スペースとして利用することも検討頂きたい。4万㎡は大きすぎると思っていたが、執務スペースに加えてパブリックスペースということであれば、4万㎡あっても良いのかなと感じた。最初から4万㎡必要というのには反対であるが、必要な機能を積み上げた結果であれば良いと思う。

【事務局】地下スペースの駐車場利用や2階レベルでの避難スペースなど参考になる意見を頂いた。市民会館隣接地の土地購入はこの場で明確に回答できるものではないが、恐らく困難である。4万㎡については多いか少ないかという議論はあるが、これがありきではない。どのようなスペースが必要なのか議論していく中で規模も決めていきたい。

【会長】なるべくゆとりのある形でできれば良いと思う。

【委員】ここで決めていくのは基本構想である。何万㎡必要なのかという議論も出てくる。現在持っている分庁舎や支所をどこまで活用するのか、本庁舎に入れる人数を決めていく必要がある。町田市はあまり支所が無いと聞いている。一般的に職員1人あたりの必要面積を積み上げる方式だと、所要面積が大きくなる。積み上げ方式では無く、目標値を設定した上で庁舎の規模を検討することも必要ではないか。

【会長】基本構想の後半部分に関わる部分まで議論することは想定していなかったが、次回では議論できればと思う。せっかくなので町田市庁舎の感想を頂ければと思う。

【委員】町田市の説明を受けたときに、川口市の議場は貧弱という発言があった。議場について、市議会議員の感想を聞きたい。

【委員】非常に明るい庁舎という印象がある。川口市と比較すると年代も違うのだが。災害問題で川が近く氾濫があったと聞く。荒川決壊でおそらく水没するということは発生する。そのあたりを非常に考えているし、川口市も考えなければならぬと思う。基本構想を作成してからタイムラグがあるので、その間に色々ある。地震対策の方が重要ではないかと思う。職員の方の机を個々には持たないという話であったが、町田市庁舎は荷物が積みあがっておらず見渡せる。重要な視点だと思う。我々は裏側から入ったが、フロア一望に働いている姿が見えるのは考えられているなと感じた。

【委員】随分質素な庁舎だと思ったのが第一印象である。鉄骨造ということであるが、あれだけの大きさの庁舎で鉄骨造というのはあまり無いのではないかと思った。検討する必要があると思う。アンケートの中でも案内の話があったが、町田市はどこに行けば何があるのか非常に分かりやすい。複合商業施設でももう少し分かり易く案内がなされると良いように思う。今回もどこに何があるのか一目瞭然に分かることが市民サービスにもつながると思う。

【委員】敷地の西側に大きな木があり何となく優しいという感じを受けた。議場が3階にあるのも市民が来やすいようにする配慮と思った。市役所に来るのは億劫であるが、あのようにつくりであれば市役所に来たいと思うのではないか。

【委員】もの凄く大きな市役所という印象であった。町田市は我々の世代ではお洒落な街というイメージがあり、そのような印象を受けた。中に入ると廊下スペースも大きいし入りやすい庁舎という印象を受けた。コミュニティスペースや職員食堂もあり、一般市民も利用できるということで魅力的な庁舎という印象を持った。

【委員】ベビーカーで行きにくい川口市の現状からすると、町田市は子育てに配慮している市役所ということを感じた。ちょっとしたところにベビー用の椅子も置いてあり、このような視点が温かいと思う。執務室は、荷物はしまっけてフラットにすることが実践されていたように思う。食堂についてはお洒落であるがメニューが今一つ思ったが、市民参加の工夫があれば楽しいレストランになると感じた。

【委員】車いす用駐車場に屋根がついており、これが普通だと思った。一般立体駐車場は有料（市役所に用事方は無料）なので少しでも収入確保になる。また、立体駐車場の一階には、思いやり駐車スペースが確保されていて、南玄関に行くときも屋根があった。基本設計時の図面と実際の現場とで異なるところがあり、柔軟性が感じられた。南玄関の周辺のトイレなどが大きく変更されている。障害者用トイレを「みんなのトイレ」と記載しているところが良いと思った。男女トイレ、公衆電話、授乳室や水飲み場と、そこに行けば用が足りるというのは良く考えられていると思った。基本設計図面では障がい福祉課の窓口がフロアの奥にあったが、現場ではイベントスタジオの隣で最も手前に設置されており、そのことに感心した。市の担当者から荷物専用エレベーターがあれば良かったという話があったが、もっともだと思った。川口市役所の場合も、弁当業者が一般のエレベーターを使うため、それだけで一杯になるので、そのようなことも考慮したいという感想をもった。

【委員】明るく高齢者も出入りできる良い雰囲気だと思った。高齢者も長生きの時代であるので、川口市もそのような雰囲気にして頂ければと思う。

【委員】市民の必要書類の届出や入手、いわゆる行政側のスペースが区割りされているのは良いアイデアだと思った。執務スペースはワンフロアすべて同じで構成されておりシンプルである。民間企業でも増えているがそれを行政に取り込んだことに関心した。4万㎡の規模で、市民のためのスペースにかなりの割合が取られている。執務空間はシンプルな空間であり、フロアごとに地味な色になっていたが、フロアごとに色を変えれば明るいイメージになる。余計なお金をかけずに建設しているということが分かる庁舎だった。

【委員】シンプルで機能性を優先していることが印象に残った。フロアを見渡せることに配慮して、職員の休憩場所は会議室を利用しているということであったが、川口市でも留意すべきと思う。議会棟は現在の川口市と比べると素晴らしいと思った。川口市議会から新庁舎に対する要望書は多かったと聞いている。

【委員】視察に参加できずに申し訳なかった。

【委員】議会に関して、傍聴動線や委員会室などはじっくり見られなかったもので、これから議論していければと思う。建物はその時代の建て方があるし、その時代の建築コストとなる。また、今の時代のデザインとなる。職員の机の配置については、今の時代がそのようなスタイルを取り入れているのだろう。これから長い時代を見た場合には疑問の部分もある。本当の意味での市民サービスを考えると、民間企業とは違った視点で考える必要もあると思った。

【委員】設計者の先生には申し訳ないが、外観は市庁舎としてのシンボル性には欠けていると思った。ワンストップロビーの広さは素晴らしく、1, 200㎡の吹き抜け空間は分かり易く非常に良いと思った。自然採光の工夫についても良いと思った。屋上庭園など、緑を取り入れることについて十分に配慮されているが、若干、不満が残る。もう少し部屋の中から緑が見える工夫が必要だと思った。3階のアトリウムの緑ももう一工夫したい。川口市の場合も緑や水を取り入れていければという事を考えた。

【副会長】それぞれの立場で見えていただき、良いご意見を頂けたと思う。町田市のまま川口市に取り入れることにはならないが、川口市のこの場所につくるということで新しい知恵を提供し合って頂ければと思う。敷地が二つに分かれているので町田市と同様の平面はもともと無理であり、1階をオープンにすることも洪水の関係であるようにはいかない。一旦、町田市のごことは忘れた方が良いでしょうと思う。

【会長】見学したこと自体は良かったが、庁舎をもう1箇所くらい見ても良いと思った。もう少し議論が煮詰まったところで対比的なものを見てもよいと思う。

(4) その他

【事務局】第4回審議会は10月6日(月)15:30から本日と同じ場所を予定している。事前に15時と申し上げていたが変更になった。

【会長】以上をもって本日の審議会は閉会する。

以上